カメハメハ大王の偉業

社会の組織のトップに立つ人は本質的に孤独である。自分と同じ気持ち、同じ悩みを共有してくれる人はいない。しかしその孤独に打ち勝ち耐える以外に次への前進はない。ハワイ諸島を初めて統一してハワイ王国を建国（1810 年）したのはカメハメハ大王である。ちなみに「カメハメハ」とは「孤独な人」を意味しているようだ。そして今年は建国して 200 年の佳節にあたる。

有名なカメハメハ大王像はイオアニ宮殿を見つめるかのように、ハワイ州最高裁判所前に威風堂々と立っていた。ゴールドカラーのヘルメットと羽毛の下帯にサンダル姿。左の槍は平和を象徴し、掲げた右手はハワイの繁栄と友好を表している。

ハワイの今日までの発展を振り返るに、彼の功績は計り知れないものがある。優れた外交手腕は英国をはじめ、西洋諸国との友好関係を維持しハワイの独立を守り続けた。そしてハワイの伝統文化の保護と繁栄に努力。更には戦時における非戦闘員の人権を保護する法律は、今日の世界で受け入れられるほどのものとなっている。

毎年 6 月 11 日は「カメハメハデー」と銘打たれ、ハワイだけの祝日となっている。この像には色とりどりの花で作られたレイを捧げるセレモニーが行われる。そのレイは地面にまで達する見事なもので、消防局の人達がはしご車に乗って掛けられる。多くの民衆から支持を受け愛され続けるカメハメハ大王に心から拍手を贈った。

撮影 2010 年冬